

仙人ヶ岳道迷い(2024年4月)

ヤマレコの地図アプリでルートが外れていたことを理解していたが、そのまま進む。急坂で転倒・動揺し、沢に降りてしまったが何とか戻る事ができた。



解説

- ・今回の反省点は、前仙人ヶ岳から梅田地区に降りる際のルートロスでした。
- ・あらかじめ登録したヤマレコから外れたのは理解していましたが、ピンクテープもあったためにそれを信用して下ったところ、途中でなくなり、既に折り返しが難しい状況(急坂、バスの時間等)でした。
- ・基本鉄則を守らず、危うく遭難しかけた(急坂で転倒・動揺し、沢に降りてしまった)自業自得の結果です。思い出すだけでも恐怖心がよみがえります。
- ・里山レベルと言ってなめてかかった慢心+大丈夫だろうという過信が起こしたミスです。初心に戻り、安全登山を心掛けたいと思います。(HP参照)

バスや電車の時間を気にしていると、間違いに気づいていてもそのまま進んでしまう事例が多い。また、バリエーションルートは特に慎重に進まなければならない、ヤマレコの地図アプリの警告が鳴った段階で「あれっ？おかしい？」と思っただろう。しかし、行動はそのまま進んでしまうのが道迷いの不思議である。「あれっ？おかしい？」と思っただけの初期動作が遭難のターニングポイントといえる。気を付けたい。